



## ユートピアと言える施設を求めてさまよう人

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（92）】老後に一番大切にしたいことを基準に

公開日：2020/01/28 (ソサエティ)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉  
ベタニアホーム理事長)



「主人に死に別れ、1人で家にいると淋しくて不安なのです」と、藤川道子さん(仮名81歳)は、施設入所の申し込みにいらっしました。

「こちらの施設は、身の回りのことは自分でできる60歳以上の方が対象です。大丈夫そうですか?」と、相談員は尋ねました。

「はい。今も1人暮らしなので全て自分で行っています」と、藤川さん。

続いて、相談員は身元保証人が必要なことをお伝えしました。

すると、「娘が遠方にいますが、頼みたくないのです。何とかありませんか」と、懇願されました。

相談員は困ってしまいました。その理由を聞いても迷惑をかけたくないの一点張りなのです。

身元保証人の必要性を重ねて説明すると、しぶしぶ「娘に連絡してみます」と、言って施設を後にされました。

数日後、藤川さんは再度施設に訪ねて来られて、こうおっしゃいました。

「以前別の施設に入所し、娘に身元保証人になってもらいました。でも、私には合わなかったので退去しました。それで、頼みにくかったのです。これが最後だときつく言われましたが、承諾してくれました」。

娘さんが保証人になってくれたにも関わらず、沈んだ表情の藤川さんに相談員は「何かほかに心配なことはありますか」と尋ねました。

すると、「結婚前は親の言うことを聞く素直な娘でした。反対したのに遠くに嫁いで、今では婿と孫のことしか頭にありません」と、非難めいた口調でおっしゃいました。

入所契約が終了するやいなや藤川さんは施設に引っ越して来られ、自由に外出をして他の入居者とも交友を深めていました。

スタッフにも「バランスの良い食事は食べられるし、24時間スタッフがいるので安心です」と、何度も感謝の言葉を伝えてくださいました。

ところが、数年も経たないうちに、急に退去の申し出があったのです。

驚いて相談員はその理由を聞くと、「やはり自分の家が落ち着くのです」と、答えられたのです。

藤川さんは手際よく引っ越しをされました。

自宅で落ち着いた生活をされていると思っていた矢先、「家に戻ったけど体調を崩し、他の老人ホームに入所しました。だけど、考えていた以上にお金がかかるので、またそちらのお世話になりたいのです。空室はあるかしら」と、相談の電話が入りました。

残念ながら、タイミング悪く満室でしたが。

その後も忘れた頃に、施設の空き状況を確認する電話がかかるようになりました。

そして、とうとう電話だけでなく施設に来られて、「今は知り合いのマンションに住んでいます。親切にしてもらってはいるけど、食事を自分で作らなくてはいけないので大変なの」と、不満そうに話されるのです。

さらに、「誰にも言わなかったけど、こちらの施設を退去した本当の理由は、仲の良かった入居者から意地悪されたからなの」と、真剣な面持ちでおっしゃいました。

実は、藤川さんほどではないにしても理想の施設を求めて、さまよう人がいないわけではありません。

自分が思い描く終の棲家を探して巡り合う人もいますが、全ての理想が叶う施設に出会うの方が稀なように思います。



この連載をベースにした『尊厳ある介護「根拠あるケア」が認知症介護を変える』（岩波書店、本体1800円）が出版されています

だから、まず老後は何を一番大切にして暮らしたいのか、安心か自由か家族か経済か、優先順位を明確にすることです。

そうすると、具体的な生活が見えてくるのではないのでしょうか。

それ以外のところは、目をつぶる覚悟も必要なのです。

藤川さんにとって幸せな老後の生活設計には、娘さんの存在が欠かせなかったのです。同居しないまでも自分の目の届くところにいて欲しかったのです。

それがかなわないと知った時から、ユートピアを求めて旅が始まったのです。どの施設も藤川さんの理想の条件を満たしませんでした。

私には藤川さんはたとえ娘さんと同居できたとしても、施設探しの旅は終わらぬように思えてなりません。

なぜなら、ユートピアは心の中にあることに気付いてないからです。

(注)事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子のバックナンバー](#)
- > [新型肺炎感染はなぜ拡大したか・・・中国政府の危機管理の失敗](#)
- > [インド経済失速、GDP+4.5%に鈍化](#)
- > [ロシア、電光石火の憲法改正審議——プーチンはなぜそんなに急ぐのか](#)
- > [がんゲノム診断に保険適用 個別化医療へ大きな一歩](#)

プロフィール

最近の投稿



### 里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム理事長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設運営。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。2019年ニュースソクラのコラムを加筆・修正して「尊厳ある介護」を岩波書店より出版。

いいね！ 0

シェア 0

ツイート

LINEで送る

[この記事編集](#)

ソクラとは

FAQ

編集長プロフィール

利用規約

利用案内

プライバシーポリシー

著作権について

特定商取引法に基づく表示

メーカーソクラ

お問い合わせ

お知らせ一覧

コラムニストプロフィール

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved